

予 算 決 算 委 員 会 会 議 録

1. 日 時 平成29年1月18日(水曜日)

午後1時39分～午後2時3分

2. 場 所 委員会室

3. 出席委員 猶野智和 委員長 末永義美 副委員長
竹岡昌治 委員 徳並伍朗 委員
秋山哲朗 委員 安富法明 委員
下井克己 委員 岩本明央 委員
山中佳子 委員 三好睦子 委員
高木法生 委員 岡山隆 委員
秋枝秀稔 委員 戎屋昭彦 委員
杉山武志 委員 荒山光広 議長

4. 欠席委員 なし

5. 出席した事務局職員

綿谷敦朗 議会事務局長 野尻登志枝 議会事務局係長
大塚 享 議会事務局係長

6. 説明のため出席した者の職氏名

篠田洋司 副市長 田辺 剛 総務部長
大野義昭 総務部次長 三浦洋介 市民福祉部長
西田良平 建設経済部長 白井栄次 建設経済部次長
竹内正夫 財政課長 福田泰嗣 地域福祉課長
河村充展 高齢福祉課長 志賀雅彦 農林課長

7. 会議の次第は次のとおりである。

午後1時39分開会

○委員長（猶野智和君） ただいまより、予算決算委員会を開会いたします。

さきほどの本会議におきまして、本委員会に付託されました議案1件につきまして審査いたしますので、御協力をよろしくお願いいたします。

それでは、議案第1号平成28年度美祢市一般会計補正予算（第7号）を、議題といたします。執行部より、説明を求めます。福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） それでは、議案第1号平成28年度美祢市一般会計補正予算（第7号）の御説明をいたします。

はじめに、歳出3款民生費・1項社会福祉費であります。議案の1-10、11ページをお開きください。

1目社会福祉総務費・説明欄001一般職員人件費として、35万5,000円を追加しております。

これは、国の経済対策の一環として新たに実施をされます臨時福祉給付金支給事業に伴う職員の時間外勤務手当でございます。

臨時福祉給付金事業につきましては、御承知のとおり、平成26年4月の消費税率引上げ、これは5%から8%。この引き上げの影響緩和を目的に、国の臨時的措置として平成26年度、27年度、そして28年度と実施をしておりますが、この度、新たに経済対策分として実施をされるものは、消費税率引上げ、これは平成29年4月に当初8%から10%に引き上げという話でしたが、これが2年半延期されるということを踏まえまして、国の経済対策の一環として、所得の低い方を対象に、平成29年4月から平成31年9月までの2年半分の影響緩和策として、1万5,000円を支給するものでございます。

次に、説明欄008臨時福祉給付金支給事業におきまして、7,929万7,000円を追加しております。

これは、先に御説明いたしました国の経済対策の一環として新たに実施されます事業費、事務費を計上しておりますが、平成28年度におきましては、5月9日から3カ月、申請受付を行い、3万円の支給を実施した高齢者分とそれから10月3日から約4カ月、1月末までですけれど3,000円の支給を実施しており臨時福祉給付金の事業費、事務費との相殺により計上をしております。財源につきましては、職員の時間外手当を含め全額国庫補助金となります。

なお末尾に計上しております過年度国庫補助金・国県等精算返還金102万5,000円につきましては、平成27年度実施分の事務費の精算により、国の返還金が生じたものであります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 河村高齢福祉課長。

○高齢福祉課長（河村充展君） 続きまして、5目共楽荘費でございます。

説明欄002共楽荘運営事業として、317万円を追加しております。

これは、共楽荘の施設境に設置しておりますネットフェンスの一部老朽化に伴い、フェンスの撤去及び設置、並びに門扉を設置するための工事請負費であります。

財源につきましては、国の平成28年度第二次補正予算において、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業に高齢者施設等の防犯対策強化事業が追加されたことに伴い、この交付金事業を活用し対応するものであり、国庫補助金として、90万円を見込んでおります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 続きまして、2項児童福祉費であります。

1目児童福祉総務費・説明欄019私立保育園施設整備事業として、194万2,000円を追加しております。

これは、私立保育園2園における、門扉及びフェンスの新設並びにフェンスの一部付け替え工事に係る補助金であります。

財源につきましては、国の平成28年度第二次補正予算成立に伴い、保育所等整備交付金に新たに防犯対策強化整備事業が創設されたことから、当該事業を活用し対応するものであります。補助率は国が2分の1、市が4分の1、事業主が4分の1となっております。予算に計上しておりますのは、国、市負担分の4分の3を計上しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） 続きまして、1-12、13ページをお開きください。

6款農林費です。

1項農業費・4目農地費において、241万3,000円を追加しております。

これは、説明欄の009県営農地整備事業におきまして、国のTPP対策の大型補正により事業拡大が図られたため、12月補正で追加をしておりますが、その後、山口県に二次の追加配分があったため、県事業負担金を追加するものです。追加される事業は、川東西・梅香・13営農区地区の暗渠排水工事等を行う予定となっております。

なお、この事業の特定財源といたしまして、地元分担金15万円を減額しております。

この事業におきましては、地元分担金を市を経由して支払う事業と、土地改良区が支払う事業があります。県事業の全体の事業量はふえておりますが、事業内容の変更により、地元分担金を土地改良区が支払うようになったため減額をするものです。

○委員長（猶野智和君） 竹内財政課長。

○財政課長（竹内正夫君） それでは、続きまして歳入について御説明をします。恐れ入りますが、1－8ページ、9ページをお開き願います。国庫支出金等の特定財源につきましてはさきほど説明しておりますので、それ以外のものについて御説明させていただきます。

10款地方交付税におきまして、430万6,000円を追加しております。

さらに21款起債におきまして、220万円を追加しております。次に地方債の補正であります。1－4ページをお開きください。社会福祉施設整備費用債として220万円を追加しております。

以上で、平成28年度美祢市一般会計補正予算（第7号）の説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。岡山委員。

○委員（岡山委員） それでは、1、2点質問してまいりたいと思います。さきほどです、本会議において今回の臨時福祉給付金対象者は何名かということでお答えがありまして、美祢市では5,500人から5,600人程度になるのではないかとこういった答弁がありました。それで、それに対して受け取りをされない人も必ず出てくるんじゃないか、ほぼ100%近い方が非課税の方が対象ですから受け取りをされる方がほとんどですけれども、それに対してどう対応するかということでもっと改めてまた西岡市長にお尋ねしましたらしっかりと広報活動をやりながら、漏れがないようにとこういう答弁がありました。まあそれはそれで結構なんですけれども、問題は

ですね、これによって臨時福祉給付金を受け取られ——来られなかった方がやっぱりどうしても出てくると思うんですよね。そういった方に対する市行政としての対応。これ国庫に返却するのか、またどのような対応されるのか、この点をまず1点としてお伺いしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 岡山委員の御質問にお答えをいたします。受給されなかった、支給を受けられなかった方の対応ということでございます。さきほども申しましたとおり再度通知をするということ、それから広報活動には徹しております。どうしても申請主義でございますので基本的にはそれに伴って申請をしていただくということでございます。だいたい95%から、これ正直申しまして26年度からスタートしてますが、その額面にもよって申請の方、若干変動がございます。95%から100%ではございませんけれども、もう少し、96、7%という場合もございます。ですから、個別に電話を差し上げてどうこうというところまでは考えておりません。通知をして周知徹底をしてですね、それによって申請をいただくという考えでございます。

以上でございます。

失礼しました。精算につきましてでございます。精算につきましては、実績に伴っての精算ということになりますので、国庫に返すといえますか、精算ですから実際返すようになる形が今までもそうなっておりますので、多めに最初見積もっております。国庫に返すというような返還という形をとる状況でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 分かりました。そういった形で形上国庫に返還、返納する形になるということでもあります。それで今回、この5,000、5,600人になるということで臨時福祉交付金が8,875万円です。かなりこれ高額ですよね。それでこの入ってくる、受け取る方。これをしっかり美祢市で消費をしていただけたら、多少なりとも美祢市の消費拡大に繋がってくると思っております。こういったところしっかりと昔のさくら券とか。2割プレミアがついてお配りするとかすぐそれを変えられる。そういう形になれば充分また消費が喚起できると思うんですけれども、その辺の対応策については今回考えておられないということですか。何かさらなるこれを活性化するようなお考えがあるかどうかお尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 岡山委員の御質問にお答えいたします。御承知のとおり、これは国の事業でございます。自治体におきましては、その事業を遂行するというところで、それを今御提案ございました、例えば市内での消費というところに結び付けて商品券であるとかそういった形で支給はこの事業については対応しかねると思います。で、また違うアプローチからそういった消費を促すということはできるのではないかと思います、私どもの担当としましては事業を国から……国の事業を受けて、遂行するというだけでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 基本的には地域福祉はそういったところの対応だけであって後は、市行政として福祉のほうでその辺のお考えについてはどうでしょうか、お尋ねします。

○委員長（猶野智和君） 篠田副市長。

○副市長（篠田洋司君） 岡山委員の御質問にお答えしたいと思います。今回のこの案件でございます。これは国の事業でございますので国の制度に則って、実施するというところでございます。

従いまして市の、今言われました商品券等での支給ということが想定しておりますし、実施できないものというふうに解釈しております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 他にございませんか。岩本委員。

○委員（岩本明央君） 1－12、13ページをお願いいたします。さきほど農林費ということで御説明がありまして、これ暗渠配水等も一部あるというようなこともありました。去年から今年、お正月相当に水やら雨やら雪やら降りまして田が大変やおうなって近所の方から、暗渠配水はどねえかならんかのうっていう話しがあつたんですが、こういう周知というかお知らせの方法はどのような方法をとっておられるかお尋ねをいたします。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） ただいま……失礼しました。岩本委員の御質問にお答えをいたします。暗渠配水等の事業につきましては県営事業でございます。県が周知をす

る場合もありますし、そのような状況があれば市農林課のほうに相談に来ていただければ、こういった事業がありますということを御説明を申し上げております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 岩本委員。

○委員（岩本明央君） 特にあの優先順位。例えば農業法人とかそれから認定農業者、そういうふうな優先順位は特にはないと理解してよろしいでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 志賀農林課長。

○農林課長（志賀雅彦君） ただいまの御質問にお答えをいたします。この事業につきましては県に要望のあったところから県が採択しているという状況にあります。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 西田建設経済部長。

○建設経済部長（西田良平君） ただいまの説明にちょっと補足いたします。今回の補正につきましては県営事業ということで今課長のほうからは県営事業の採択順位という形で申し上げました。それ以外の一般の農業者の方であったりとかそういう方達が暗渠配水であったり、農業用施設の補修、改修。こういったようなことを要望された場合には分担金——補助金制度をとっております。申請された方が自ら工事を起こしながら、それに対して我々が市として補助金を出していくというスタンスをとっておりまして、その優先順位といたしますか、そういうことにつきましては基本的な考え方としましては、順番通りっていいですか、申請順にそれを交付していく。それはどうしても予算に限りがございますので来年度あるいはその翌年度という大変申し訳ない予算の状況になることもありますが、基本的には申請順という形を基本ベースと考えております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。下井委員。

○委員（下井克己君） さきほどの岡山委員に関連するんですが、本人申請が基本となっておりますが、代理申請ってのは駄目なんですか。

○委員長（猶野智和君） どうぞ。

○委員（下井克己君） と申しますのも、やっぱこう低所得者の方って朝早く仕事に行かれて、夜……まあ恐らく8時、9時、10時ぐらいまで。そしてなかなか休みにくいということがあって本人確認ができない、しにくって何人か居られると思います。

そういう方に対しての対処ができないかという御質問です。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 下井委員の御質問にお答えいたします。委任状により代理申請はできたように記憶しております。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。三好委員。

○委員（三好睦子君） お尋ねいたします。聞き逃したかもわかりませんが、臨時給付金が1月末が期限なんですけど、いま現在の申請率は何%なのでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） 三好委員の御質問にお答えいたします。現在実施をしております、3000円ですね。これは、1月末までということですが、80%にも満たしておりません。さきほど申しましたとおり、1月の中旬に通知いたしました。その後、かなり今来ております。今ちょっとそこを集計しておりませんが、通知後はかなり申請に来られておるという状況でございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 三好委員。

○委員（三好睦子君） 一番問題なのは1人暮らしとか初期の認知症。電話かけてもはいはいとってわかったなと思っても、わからなかったりするのです。そういうところ十分気をつけていただきたいのと民生委員さんのお世話……民生委員さんもって言われましたが、民生委員さんが担当する地区の民生委員さんで誰がまだっていうのはわかるのでしょうか。個人……そういうところはどうかでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 福田地域福祉課長。

○地域福祉課長（福田泰嗣君） ただいまの御質問にお答えいたします。民生委員さんにつきましてはですね、周辺の方に声をかけていただくという程度でございまして、申請を済まされた方、今の現状とかそういった情報をこちらからお教えするという対応ではございません。臨時福祉給付金でありますから対応されてますかとか、そういった何かあれば、通知が来たんなら相談に乗るよとかそういったような形での対応をお願いしておるところでございます。

以上です。

○委員長（猶野智和君） よろしいですか。ほかにございますか。

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認めます。それでは、本案に対する御意見はございませんか。竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 岡山委員の質問に対して、執行部から例えばどういうことかといいますと、まあ少なくとも8,800万ぐらいのお金が、これは経済対策で出てきた金だと思うんですね。したがって、岡山委員がおっしゃったのは、多分、その経済効果を狙って、いわゆる乗数効果をどうやってあげるんかという中での質問だったと思うんですよ。この事業では、例えば商品券っていっても馴染まないというのは私たちはわかっておるわけでありまして。ほかにですね、やはりせっかくの経済対策ですから、一家だけでいやこれはほかのことはできないんよというわけではなくして、いわゆる消費性向をどう高めていくか。せっかくのお金ですから。で、乗数効果をどうあげるか。例えば2.5倍にしても2億ぐらいの効果はでてくるわけですよ。やれば。ですから、その辺の工夫をですね、今後も考えていただきたい。多分これが岡山委員の本音だと思うんですね。私もそういう意味で今後期待いたしまして賛成いたしたいと思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） それでは、これより、議案第1号平成28年度美祢市一般会計補正予算（第7号）を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第1号は、原案のとおり可決されました。その他委員の皆さんから何かございましたら御発言をお願いいたします。

ないようでしたらこれにて本委員会を閉会いたします。御審査御協力、誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後2時3分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成29年1月18日

予算決算委員長

楠野 智和